



泉っ子だより

みがきあい
じぶんいろに
ひかり、かがやく 泉っ子



令和2年 7月 31日 20号

ちょっと耳の痛い話ですが……

学校通信の中で「うれしかったこと」「ところがポカポカになりました」等、本校児童が人を助けたり、喜ばせたり、心が和む出来事を幾度となく紹介してきましたが今回は反対のことをお伝えしなければなりません。

7月27日(19号)で、交通事故につながるのではないかという危険な行動をとる児童がいたということについてお知らせしました。しかし、学校に連絡してくれた地域の方は危険な行動だけでなく、その行動を注意した後の態度についても言っておられました。

本校児童がとった危険な行動に対して、ドライバーの方は「気をつける」「危ないじゃないの」「事故に遭ったら大変よ」等、きつめの言葉だったり、場合によっては怒鳴られたりしたかもしれません。結果的には、その言われたことに対して、知らん顔したり、『うるせ〜』『やかまし〜』と言葉を返したりする子どもがいたそうです。事故にも遭っていないのに、なぜ叱られなくてはいけないのかという不満があったかも知れません。きつく言われたり、怒鳴られたりしたことに対する反発だったかも知れません。大きな声で言われたことが嫌だったかも知れません。

しかし、ここでははっきりとさせておきたいことは、「無事でよかった!」ということです。きっと、危険な行動をした本人も本心は「ぶつからなくてよかった。」、ドライバーの方も「事故にならなくてよかった。」とホッとしたことでしょう。だから、「二度と同じ危険な行動はとらないで!」という気持ちを込めたきつい言葉であったり、怒鳴ったりしたのではないのでしょうか。けがをしたり、事故に遭ったり、ましてや交通事故で命を落としては大変なことです。先生はその光景を思い描いただけで恐ろしくなります。誰も交通事故に遭ってほしくはありませんし、誰も交通事故を起こしてほしくありません。

ほとんどの方が、人の行動や言動に対して注意したり、アドバイスしたりすることはあまりしたくないし、できたらしたくないと思っているようです。つまり、自分の行動や言動に対して注意やアドバイスしてくれる人がいるということは、その方は本当にその人のことを考えている。ということではないのでしょうか。注意やアドバイスを受けたときには、不満、反発、嫌だったりするかも知れません。しかし、「本当にそうならなくてよかった」と考えて、「すみませんでした」「気をつけます」「今後はそのようにしてみます」と言えたらいいなと思いました。

みなさん、いかがでしょうか。こんなふうを考えることで、いろいろな場面で注意やアドバイスを受けたときの態度が変わってくるのではないのでしょうか。



自分の行動に責任を持てる子に!

今年度になって、卒業生によく会います。4月の終わりに出張で市役所に行ったとき、「コロナで会社が休みになったもので……」という、卒業生に会いました。懐かしく思いました。そのときに、卒業生が自分の子どものことについて「昔の自分を見ているようで……」と話してくれました。

23年前、私は赴任地の筑豊地区から行橋に異動して戻ってきました。その卒業生は、当時の私と同じ年齢で38歳になっていました。23年ぶりだというのに、私のことを覚え、私を見つけたので声をかたということでした。うれしいですね。ただ、卒業生は私の名前を覚えていてくれたのですが、私は恥ずかしながら彼の名前を思い出すことができませんでした。「卒業生がいっぱいおるけ、俺の名前を忘れても仕方ないやん。けど、俺の顔を覚えてくれとったけ、うれしかった。」と優しい言葉をかけてもらいました。とてもありがたいと感じました。彼の成長と私自身の老いを痛感しました。

昔を懐かしんで話していると、突然彼が、先生が当時よく言っていた「自分のしたことを(自分で決めたことを)人のせいにするな。」という言葉の思い出すというのです。中学生になった自分の子どもが、何かというと「〜から言われたから」「〜のせいだ」と言うそうです。自分も中学生のとき、人のせいにして自分のしたことから逃げてた。公立高校受験を失敗したことも親のせいにして高校生活は何事にも真剣になれなかった。気がついたときには、就職もなく、しばらくバイトしてた。そして、「人のせいにしてたら道がひらけないということが、20歳になりやっとわかりました。」とっていました。

その後もしばらく話しましたが、自分の道を自分の手できりひらくために、「自分の行動に責任とれるような子に育てほしい。」とっていました。

また、子どもには早くわかってほしいと思うけど、「自分で気がつかない意味ないんだよなあ。」とも言っていました。私は、「立派になったなあ」しか言えませんでした。親としての壁に正面からぶち当たっている彼の姿に感心しました。彼は自分が乗り越えてきた経験があるので、きっと子どもが納得できるいいアドバイスをすることができると思います。

帽子・水筒を忘れずに!

いつもの年であれば夏休みであるはずですが、新型コロナウイルスの関係で授業が続いています。私も30数年の教師生活で初めてのことです。安全指導で学校前の横断歩道に立ちますが暑いです。みなさんがしているマスクも体温上昇の原因になります。クマゼミの鳴き声も暑さを倍増させます。泉小のみなさんも暑い中、よく頑張っていて登校しています。自分の力で歩いてきていることに先生はとても感心しています。“暑さに負けるな!”と思います。

しかし、最近帽子をかぶっていない子どもが多いことが気になります。確かに帽子をかぶると暑いかも知れませんが、直射日光がガンガン頭に照りつけています。体温上昇の原因になります。まず、帽子をかぶりましょう。そして、水筒を絶対に忘れない。できれば、水の量をいつもより増やした方がベストです。2つ持ってきてもいいと思います。

夏休み期間 8月 8日(土)~8月19日(水) <12日間>

学校閉庁 8月13日(木)~8月17日(月) <学校は閉まっています>